
「ひと と AI。 - AI は好奇心を持てるのか-」

アンケート集計

開催日：2018年2月24日（土） 13時30分～17時（開場13時）

開場：女子美術大学 杉並キャンパス7号館 7201教室

申込者数：106名

参加者数：76名

アンケート回収数：45（回収率：59%）

1. この会をどこでお知りになりましたか？

- ・職場にて 1名
- ・Facebook 2名
- ・(株)コンセントのHP 1名
- ・知人より 8名
- ・ICT教育のサイト 1名
- ・日本語教育学会 1名
- ・OACからの案内 14名
- ・WEBより 2名
- ・日本化学教育学会 1名
- ・JSAIメール 1名
- ・市川先生の紹介 1名
- ・庁内からのメール 1名
- ・人口知能学会メールリスト 1名
- ・市川さんのFace Book 1名
- ・コクチーズ 1名
- ・日本神経科学学会HP 1名
- ・勤務先社長の紹介 1名
- ・中小企業診断協会 AI人工知能研究会 1名
- ・科学教育学会 1名
- ・日本心理学会のイベント紹介ページ 1名
- ・全国高等学校美術工芸教育委員会 1名

2. 開催時期に関して

- ・適当 52名
- ・未回答 1名
- ・この時期以外を希望 1名

ご意見

- ① 学校関係者が少ないのはもったいないと思った。入試の時期と重なるからだろうか。日程が早く決まらないと予定が立てられないのかもしれない。
- ② 企画によって別時期になってもよいと思います。初等教育機関の先生等は夏の方が来やすいとかあるのですかね。

3. この会に参加された理由は？

- AIと社会の関わり方について学び、多くの人々と対話することや発信できるようになるため。
- そもそもAIとは何なのか、どこまで進んでいるのかなどを知るため。
- 自分自身の学び（学び方）に迷っている所があるため。
- テーマ「AI時代のひとの学び」にとにかく興味をもった。
- 「AIと教育」のキーワードに興味があり、話を聞こうと思ったから。
- 4月から我が子が小学校に入学するタイミングで市川氏の講演に興味があった為。
- これからの教育への関心。
- AIと学びについて考え方を聞きたかった。
- テーマに興味を持ったから。
- 教育分野に関する動向、情報を広く収集している。
- 個人的な興味、関心。
- 「学び」に関心がある為。
- AIに対して興味があるので。
- AI研究のため。
- 学びとAIの関係に興味があった為。
- AIは学習指導要領にもその進歩が示されるなど、進展が著しいが詳しい話は聞いたことがなかった。
- 自分の研究テーマに即しているから。
- 市川さんのお話を聞く機会があり、もっとお話を伺いたいと思っている矢先に、こちらのシンポジウムが開かれるのを知り、ぜひ参加したいと思いました。
- AIについて学びたかったから。
- 民間教育機関に長く働いており、今後の業務とAIについて興味があった為。
- 女子美術大学が会場であり、興味があった為。

- 毎回のテーマに魅かれて。
- 昨年参加して非常におもしろかった。今の教育業界をクリティカルにみる視点が必要、と感じているので。
- 昨年の教育シンポジウムに参加して、内容がとても充実していましたので。
- ひと、学び、のキーワードで参加しました。
- AI・人工知能そのもの、および AI・人工知能が発展した社会の在り方に興味が深いため。
- 産官学協働の美術教育や美術の将来を考える場は他にないから。高校生と社会をつなぐ授業をしたいのでその情報をとりに来た。もっと多くの人が知るといいなと思う。
- AI、人工知能が生み出す世の中、社会体制について考えたいから。
- 知人からの紹介を受けたから。
- AI をいろいろな視点から勉強させて頂きたいので。
- ヒトの学習に興味があったから。
- 教育の重要性。
- これから AI、人工知能が出てくる世の中になると言われているので、研究者の方が“ひとの学び”をどのように語るのか興味があって参加しました。
- 次の世代を育てている立場として、知っておくべきことが含まれていると感じたから。
- AI に興味があったので。
- AI と芸術教育（美術工芸）の在り方について知りたいから。
- AI に興味があったから。
- 学ぶこと、AI のことを考え、知ることですら知識の力やこれからの未来の事も想像できると感じた。
- タイトルへの関心と講師への関心。
- 講演内容は大変良いので。
- 市川さんの活動に興味があり、過去に参加した本会がとても刺激的で印象に残っていたため。
- 芸術の存在意義をどう捉えるかに興味があるから。
- 教育と AI(IT 技術)に関心があるため。

4. 市川力さんの講演についてご意見・ご感想をご記入ください。

- 子どもと共にどう互いに成長していくかあらためて考えさせられた。私自身、仕事柄、子どもと接することが多い中で、教育機関でもなく、施設内の制約ある中でどうアプローチするかという課題に悩んでいた。しかし講演を拝聴し少し選択肢が広がったように感じる。
- 学校できちんと勉強しないといけないと考えていましたが、もっとゆっくりで良いと知れて楽になりました。
- 教育（人を育てる）ことについて本質的な働きに感動を覚えました。自分自身の授業実践や、生徒とのかかわり方の裏づけを得たような・・・感激です。
- 原体験に AI を活用し、学びの仕掛けを考えられたらおもしろいと思いました。考えてみます。
- 我家は、保育園に通う子供がおり、朝の登園は夫に任せていたのですが実は長い間、遅刻をしていることが多かった・・・と最近知ったのですが、その原因が「父子の寄り道」でした。今回の市川さんの講演をお聞きし、父子を許してやろうと思いました。
- 自分が面白いと思えないのは、自分の思考が狭いからなのか、考えさせられる内容でした。
- 共感を得る部分が多かった。
- 大人と子供のかかわり合いの重要性について面白く聞かせて頂きました。
- 小学生の子どもがいるので、このままでいいのか、これからでも少しずつ“原体験”を増やせるような生活ができるのか、ざわざわした。
- 大変個性的な方であり、魅力を感じた。
- 学校以外で子どもたちにできること、必要なことが重くないところからかわれるようなヒントをもらえました。
- AI を補完する（？）人間の価値は非合理性や非常識にあると認識しました。大変有意義でした。
- 日頃子どもと接していると、子供の物の見方や発言、大胆な行動力に驚かされることはしばしばあります。そもそも子供とは好奇心のかたまりであるのに、その好奇心をつぶしてってしまう現在の公教育に問題があると考えています。市川さんが行っている探求型授業が広く公立小学校においても展開されていることを望みます。
- 好奇心を持つ重要性を感じた。
- 好奇心による学びの重要性についても共感しました。楽しい講演でした。

- 「原体験」と「冒険的行為」という言葉にビビッときました。私も常に体験（経験）と冒険（ロールプレイング）していくことを行動できればと思っています。
- 今春高校入学を迎え子どもをもつ親として余遊のある子育てをしていたか？の思いを感じました。仮設→表現→仮設のサイクルは大人としても仕事に必要なであると日々感じております。
- 探究移動小学校を主宰している市川さんの話は、興味深かった。探求型の教育を推進していく重要性を確認でき、意義があった。
- 今回のテーマを掘り下げると人（ひと）の学びの根源が好奇心にあり、創造性を育むことと同一だと思った。
- 非常に納得できる！と思いながらお話を聞きました。これからの教育に創造性が必要と言いながら今の公教育は創造性をはぐむような教育にはまだまだなっていない点が多いと感じています。あまりに現場の先生が文科省のおしきせのカリキュラムにしばられすぎています。
- 好奇心にかられた偶然の出会いや冒険的行為は大人の世界にもとても必要だと感じました。また、少し子どもの手をひっぱってめんどろなことから次のステップへいざなうことの必要性、感じます。「どこかほかの場所がどこにあるにせよ、どこかにあるというものだ」子どもの時代にこれを知ることにはびっくりするほどの可能性を広げますね。
- フリースクールのことは TV など知っており、どのように運営されているかまではわからなかったので校長だった市川さんの人柄のようなところに触れられたところがとてもよかったと思う。
- 自ら学び、行動する能力を培う教育のあり方を学びました。
- 「できるように、わかりやすく、完成する」教育界がまじめに取り組むと、本来の学びからズレてくるということに共感する。美術の授業は学校教育の中で好奇心を守る場にあると思うのだが、美術教育でさえ、教員の段取りの中に小さな政策をさせて完成させて終わっていること疑問を感じている。疑問を、市川さんのうまい言葉であきらかにしてもらった気分です。ありがとうございます。
- ファシリテーションの極意に通じるものを感じて興味深かったです。
- 子どもの好奇心の大切さに気づかされた。
- 100%正しいと思います。
- 美術教育でも「好奇心」や「謎に挑む」、「面白がる」など、考え方が同じの部分があり、体験を伴う学びの大切さを感じました。
- 子ども時代の自分を振り返るようだった。今の子どもに欠けていて自分にあるものが「やっぱこれか」というものが見えた。おっちゃんの見聞は、まさしく総合学習であり、美術の授業だった。

- 興味深い内容でした。
- 子どもによって大人が変わる、異なるジェネレーションの学び場が必要、等のことに AI をからめるという発想がおもしろい。
- 好奇心を生かすことで、大人も子どもも学び、追求することの楽しさを改めて考えさせられた。出来ない、わからない、終わらない、にとことん向き合うこと。人と語り、話し合うことで新たな発見につながることに、今の自分でさえ大切にしていなかったと思った。「好奇心が動き出す学び」すごく素敵な考え方だと思います。大切にしていきます。
- 大変面白かった。聞いていて思ったのは、やっていることは美大と同じだということ。美大の中に美大生と同じようなカリキュラムをやる小学校を作ればいいのではと感じた。
- 未来の学びのカチを知ることができた。「原体験」を得られる学びが、子供にも大人にも。
- 目の前にあることにワクワクを見つけたり面白がることは、大人にこそ求められるスキルであると感じた。なので「大人と子供で共人たくらむ」というお話に深く共感しました。
- コンピューターで合理化する方向とはまったく逆方向のファジィなことの大切さを力説されていたように思う。これからの初等教育の中心になる考え方だとも思う。
- 面白かったです。「好奇心に動かされ、冒険的にやってみて、楽しむ。学ぶ。」教育の原点を見て、聞けた講演でございました。
- 迫力満点で面白い。
- 「できない」「わからない」「終わらない」という考え方（余遊）と原体験（好奇心主導の学び）を学びました。この中で、“好奇心主導”とは、自分の好きなものとは必ずしも一致せず、楽しく取り組める事である。また、“学び”とは好奇心であり、何でも面白がることであると理解しました。そして、日常や身の周りのものにまなざしを注ぐことも大切です。また、「できない」「わからない」「終わらない」「謎に挑む（大人と子供）」、これらのことを社会人になるために是非学べる場を大学の「すき間」時間に作りたい！！と思いました。また、異なる generation 同士が同時に学ぶファシリテーターとしての役割ができる大人による指導は大学生にこそ必要！！

5. 山川宏さんの講演についてご意見・ご感想をご記入ください。

- 目的であった AI のこと、AI と社会の関わりのことについて拝聴できて良かった。まだまだ、人に伝えるには勉強が足りないが勉強の方向性が見えてきたと感じた。
- スライド資料をゆっくり見たいので、公開していただけるとありがたいです。
- 最先端の AI についての貴重な情報、そして展望を知ることができて感謝です。
- AI 時代のキャリアデザインという観点が無かったため、非常にタメになった。技術的な所も、深くお聞きしたかった。また講演があれば参加したい。
- 全能アーキテクチャに興味を湧きました。
- 内容がとても濃く、良かった。
- AI の概論進展はわかりました。学ぶという場における AI のポジションについてはさらに詳しく知りたかった。
- 動画再生の時の音量が大きすぎて話が全く聞き取れなかった。
- 大変面白い。
- ちょっとむずかしい。
- 「直感」「好奇心」「創造」「学び」AI とのつながりが少しわかった気がします。
- 最先端の AI についてまたキャリアデザインの観点からも話が聞けて、大変参考になった。
- 広い視野からのまとめがとても参考になりました。特に教育の観点からキャリアデザインのお話が AI の進展も合わせて示唆に富んでいると思いました。
- 自分自身の価値（能力）を上げること。脳を大切にする事。
- AI の話を直接聞いたのは初めてでしたが、わかりやすく、楽しかったです。
- 興味はあるのですが専門用語が少し多すぎて全体的にあまり理解できませんでした。
AI も子供も大人も常に学び（ぶ）好奇心が必要なのだということだけはわかりました。
- 昨年キャリアコンサルタントの資格を取りました。キャリアデザインと AI の関連性はこれからの時代さらに重要になると考えており、勉強になりました。

- 「AI の開発が早く、未来の職業が原価してくるということは、教育の方向性にも影響してくる。創造性の分野が基調になってくるのではないか。生産性の部分を AI が担うので、楽しい分野を人間が担っていくのではないか。」等、未来を見据え、子供達を教育していくことが大切なのだと認識しました。
- 想像していた AI の話とは異なりました。AI についての自分の不理解を理解したように思いません。
- AI がワクワクを見つける力をもつための Deep Dream (と理解しましたが) そのちょうどいい部品は、どのようなものか知りたくなりました。オープンに開発される WBA に期待します。「プレーランナー」のような世界にならぬよう。
- AI は言葉が広がりすぎてしまい、実態がつかめずにいた。でも私は、もうすでに AI の力で生活をしている。もうすでに共生が成り立っていると思った。これからどのように発展していくにあたって忘れてならないのはお互いが共に生きる思いやりのように感じる。
- 「子どもの学び方」にせまるということと、市川さんの好奇心や試行錯誤の学びと重なるところがあっておもしろかったです。人工知能の学問から「学び」の再検討が始まるのかもしれないと思いました。
- AI と人類の共生をエコシステムの視点から考えている点が面白いと思った。とりわけ片利共生のアナロジーはソーシャル・エコノミクスに示唆するところが小さくない。
- とても興味深かったです。AI の研究・開発のみならず、その利用の仕方、人との共存の仕方まで聞くことができ、とっても勉強になりました。
- AI をとりまく全容がよくわかりました
- とても興味深く聞かせていただきました。「加速する世界で人の学びは忙しくなる」の話にはおもしろかったです。これからの時代も人間のコミュニケーション能力や創造性があるこそその AI となっていくんだなと少しほっとした部分もあります。
- 学びの視点が教育と離れていたのか、自分の能力が低くて気付いたり結びつけたりできるポイントが少なかったので少し残念だった。自分が何を求めてきたのか再確認しなきゃいけないと思った。でも、SF 好きの心は満足した。
- 興味深い内容でした。
- AI とキャリア教育との関係の話が、興味深い。
- 3 年間の目標を立てる点が参考になりました。AI という点から結びつけた点に興味を持った。

- ヒトの脳の仕組みを知り解析していくことで AI の学習を探っていく、その事に対してとても神秘的だなと感じた。正直 AI に対しての興味と、恐怖心と両面があって、身構えている部分があった。市川さんの話ではないけど AI に対して好奇心を持つことで AI に対しても見方も変わるなと思う。
- 大変興味深かった。AI も子供も必要なものは同じなのだと理解した。
- 現実とのギャップと AGI がおもしろい。
- 全く情報を持っていない分野だったので興味深かったです。
- AI 開発の現在について知ることができた。万能ではないこともわかった。
- 大人の AI、子供の AI という表現はわかりやすく、面白く感じました。教育において、子供の AI を育てていくことは市川さんのお話と合わせてもっともであると思いました。
- 人工知能について機械学習との関係がわかりました。今は AI の方が将棋が人間より強いがなぜそうなったかを「広い読み」（プログラミングしやすい）と「直感」の違いで説明されていて興味深かった。脳内の「深層学習」構造がサルで実証され、囲碁でも AI が人間のプロに勝ち、レンブラントの「新作」すら作れる様になったのは大きな進歩であり、そのメリットははかりしれない分、少し怖い面がそろそろ出現するのではと感じました。（AGI の発展）人間と異なり、「疲れをしなさい」ことは人間の永久に持てない AI や AGI の圧倒的強み？
- AI に支配される日も遠くないと思いました。産業革命が資本主義を生み、そのアンチテーゼとして共産主義が登場したように、AI という歴史的パワーが何を社会にもたらすのか、そうした議論も必要と感じました。

6. 「パネルディスカッション」についてご意見・ご感想をご記入ください。

- いろいろな視点をイメージできてよかった。
- 「ドラえもん」はいつできるんですか？（今日のお話で実現しそうな感じがして）山川先生の AI×市川先生の原体験。「ドラえもん」×「のび太」、AI（ロボット）と人間の共存は実現するものなのでしょうか？ * 四次元ポケット（道具）は入りませんが（笑）それこそ色々な仕事が無くなりますね。
- 原体験、偶然と AI のあり方のお話面白かったです。まさに「ひとと AI」AI は好奇心を持てるのか、に話であり、もう少し深く聞きたいと思いました。
- 市川さんは、自然体験や原体験を重要視し、コミュニケーション重視で教育している。山川さんは、AI 開発でクールな分野で流れを創っている。対称的な二人の対談が面白かった。

- これまでと較べて人数を絞り込み、講演の補足を含めた内容で講演内容を深めた感じがあります。ただし、司会進行は時間を気にしながら進行すべきです。60分→90分はどんなに意義があったとしても通常はあってはならないと思います。
- 質問もできてとても意義のある時間になりました。
- AIが進展した社会における人間の役割、どのように生きるか、について考えさせられる機会になりました。
- 知識を学び続けるということがまとめになっていておもしろかった。
- 市川先生も山川先生も専門的な見識から共通の関心に応える引出しをお持ちの方とお見受けしたので、川崎さんにはお二人がお答えになる時間をもう少しとってもらいたかった。
- 市川先生、山川先生のそれぞれのバックグラウンドが異なるため、専門から日常まで話が非常に広がって良かったです。子ども時代、デジタルネイティブ世代はもっとAIを違和感なく受け入れられることには納得です。子どもの原体験も、自然だけではなく、デジタル内でもあり得るという発想（もし、仮想世界がもっとリアルだったら）は初めて気づきました。たしかに、このような世の中では、子どもよりも大人の方が「学び」が必要ですね。
- パネルディスカッションがあったことでキーノートスピーチの理解が深まります。
- 質疑応答の時間ももっとあるといいなと感じました。
- 有意義なトークでした。
- 「AIを楽しむ」「ipadの向こう世界の原体験」
- 市川さんと山川さんの意見は身体的な面からバーチャル的な意思のぶつかり合いで双方が尊重し合うことで導きにつながっているように思う。AIだけがいいわけでもなく身体的体験だけがいいわけでもなく、両面の良い所・悪い所を理解し共存させていくことで新しい学びにつながると思う。
- より深い話を聞けて良かった。
- 速い世界で子どもを教えるのではなく、教えない勇気のようなものが必要なのかなと感じました。
- AIの現状と人間のすごさがわかった。データの蓄積が必要であり、そこからAIがスタートするのだということ。

- パネルディスカッションはつくづく難しいシンポジウムの催しだと思いました。しかし、今回はある意味で両極にあり講演者の方々と MC の方及びフロアからの質問が出て盛り上がって良かったと思います。AI と AGI は大学の教育そのものを変えてしまうと痛感すると同時に市川氏の展開される（ある意味で）たくまさを培う学び舎を大学の中に学生と教職員達のほっとするそれでいて遊び心の持てる居場所（ルーム）を作りたいです。

7. 今回のシンポジウムについての感想をご記入ください。

- 市川先生のお話が良かったです。
- AI と教育を考える良い機会となった。普段、AI コンサルや開発をしているため、視点を変えてこれからの生活に取り組みうと思った。また、自分の子どもも含め、これからの教育に AI は密に関わるため、もっと知見を深めていきたい。
- とても良かったです。
- とても興味深い話が聞けて、来た甲斐がありました。
- 大変有意義でした。感謝申し上げます。
- 人材育成には、子供を育てる親にも責任があると思います。親も勉強するこいうった場がたくさん設けられるといいと思いました。子連れ参加を快く引き受けていただきありがとうございました。
- 将来に向けて重要な事が学べて良かった。
- 楽しかったです。
- 教える（伝える）⇔学ぶ（体験、実行する）ことに改めて自分の為になりました。
* AI も子供も大人も育てて（成長）いかないと。
- 教育、AI,ともに N まさに今、大きな動きがあるタイミングで今回のお話が聞けて大変参考となりました。
- 創造性と汎用性は似ていて、AI もそれらの機能が身についていくものも出てくる。人間の役割、教育についてシンポジウムを通して考えさせられた。
- 既に「水没」してしまっている自分の現状を理解した。
- AI を知ることで「人」を知ることができました。人は胎内で五感を使って母体から入ってくる様々な情報を感じとり、記憶して生まれてきます。この五感こそが人間の複雑な思考を生み出しているのだということを確認できました。

- 開いていただき、ありがとうございました。違った分野の人達が話し合う中で、別のものが見えてきた感じがしました。市川さんと山川さんの視点で学校教育の中の美術教育でこんな授業を受けたい、とかこんな風にあったら？という提案を聞きたかったです。
- 市川先生からは子供から得る学び、山川先生からは AI から得る学び、その対比をパネルディスカッションで総括するような進行があれば、よりお二方の先生をお呼びした意義が深くなったと思う。
- 異分野の先生を組み合わせたことはとても良かったのではないかと思います。
- クリエイトは全産業に今や必要な能力です。
- 日頃、直接お話を聞ける機会がなかなかないので、とても有意義な時間でした。参加して良かったです。
- AI が産業革命をもたらすのか？ビジネスに新しい分野を作れるのか？人材育成をどうしたらいいか？大手企業だけが参入できる領域になってしまうのか？等を聞いてみたかったです。
- AI とデザインについての話を聞きたかった。
- 教育が根本的に必要なのは大人の方だなと感じた。子どもに教える前に大人側が学ぶことは必要不可欠で、その為の時間や場所は本来もっと多くあったらと思う。今回興味本位で参加したが、自らもっと学ぶべきだなと深く考えさせられた。
- 大人の教育が大切であるということを強く感じました。
- 好き→楽しい→好奇心 とつながることが興味深い。人間の存在の根幹となる感情の流れだと思う。欲求の関連も。
- とても興味深く、多くの気付きや学びがありました。講演中のスクリーンと座席の明暗が少し強くて、まぶしく目が疲れました。子供や AI や AGI の学びのメカニズムはとてもおもしろい話でしたが、これからの世の中を支えていく若い世代の人達に AI や AGI をコントロールしたり損害を保障する国の制度を今から検討を重ね、10 年以内に法律として確立してほしい（すべきである）。次の予定があるので延長 30 分はちょっとツライ（パネルディスカッションの時、途中退席はしづらい）
- 勉強になりました。人とは何か？社会とは何か？AI は歴史的にどう位置づけられるのか？来たるべき社会体制は？こうした議論が必要かと思います。
- やはり、公教育の役割としては次世代の構成者として生きるために“やりたいこと”をみつけられる取り組みをしなきゃいけないんだなってことですかね。あとは、多様な価値観。

8. 今後、どのようなシンポジウムや講演者の方を望みますか？

- 研究者。研究者がどう学んでどう価値を見つけているか？
- 最新の技術をテーマをお願いします。
- 地域と学校の関わり合いや両者をつなぐ取り組み。
- 麴町中学校、校長の工藤勇一氏
- 数学者の新井紀子氏
- 歴史等
- 労働市場、教育分野等。
- 外国人（移民）との共生について
- 医療分野、ゲーム e スポーツ分野、グーグル・ライン等の分野等。新たな分野を開発している講演者を望みます。
- 教育シンポジウムであれば、教育の現状について課題を提示して頂ける方。また、回答を提示していただける行政側の方。
- 教育について子供も自由に意見が言えるようなシンポジウム。
- 苫野一徳さんを是非！お願いします。教育の本質について皆が考えるべきことを的確に言っています。多くの人に知ってもらいたい。そして、哲学についても深い話が聞けそうです。
- 学ぶことの意義を、独学でプロフェッショナルになった人や、日本の教育制度から外れた教育を受けて日本で活躍している人からお話を聞きたい。
- クリエイティブな仕事の方のお話を聞きたいです。
- 毎回楽しませていただいているので方向性については疑いを持っていない。
- 多分野の方が一同に会す機会となるテーマがあるとよいなと思います。
- 以前の教育との関連をみのがして残念なので、またどうですか？
- 思想・哲学・社会学など、AI と社会・人間を考える機会（AI に関連して言いますと）
- AI に負けたプロのお話。新指導要領について文部科学省の裏話（特に退官された方、前事務次官の方のお話は興味深い）。センター入試に代わる共通テストと AI による採点について。